

\*\*\*\*\* 申し合わせ事項 \*\*\*\*\*

(審判規則に関すること)

- 1 突き技は禁じ技とする。故意に突っ掛かるような突きは、反則とすることがある。
- 2 片手技は有効としない。(ただし隻腕の場合などは片手技および上段からの技を認めるが、この場合監督は審判会議、監督会議において氏名を報告する)
- 3 「変形な構え等の防御姿勢」をとった場合、合議のうえ1度目は指導、2度目は反則とする。

(競技規則に関すること)

- 4 団体戦のチーム編成について

団体戦の選手が5人に満たない場合においても出場を認める。ただし、4人の場合は①先鋒、②中堅、③副将、④大将、3人の場合は①先鋒、②中堅、③大将の位置とする。

- 5 選手変更について 【選手変更届は大会本部に提出して下さい。】

(1)団体戦について

- a 補員の補充について

選手申込み以後に、けが・病気等により出場できない選手が生じた場合は、5月11日(土) 11:00(受付終了時刻)までに選手変更届(診断書添付)を選手受付係を通じ大会本部に提出し、監督会議の席上で氏名報告をする。以後の補充は認めない。

- b 選手の出場順を変更することはできない。

c 正選手に事故があった場合、その試合の前に大会本部に選手変更届出用紙を提出し、補員選手をその位置に入れる。

- d 一旦退いた選手の復帰は認めない。

(2)個人戦について

選手申込み以後に、けが、病気等により出場できない選手が生じた場合は、5月11日(土)の11:00(受付終了時刻)までに選手変更届(診断書添付)を選手受付係を通じ大会本部に提出し、監督会議の席上で氏名報告をする。(選手の足袋・サポーター・テーピングなどの使用については可とする。ただし、見苦しくない程度のものとする。)

- 6 試合者の名札(垂れネーム)のない者は出場を認めない。

- 7 試合者の目印(紅白のたすき)は出場校で用意し、取り付け、取り外す。(幅5cm、長さ70cm)

- 8 場内への時計類の持ち込みは禁止する。

- 9 竹刀の計量検査は行わないが、危険防止のため、不備のない竹刀を使用すること。

- 10 応援は拍手のみとする。試合中の選手への指示やサインは禁止する。

- 11 フロア内での飲食(水分補給など)はしない。

- 12 フロア内での撮影は禁止(スマートフォン・タブレット含む)

また、観覧席においてもフラッシュ等競技の妨害となる行為は禁止する。